

事業番号	09 03 01	事業改善シート (29年度実施事業分)	■当初要求	□当初予算案	□補正予算案	□点検
事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業		部局	農政部	課・室	農業技術課
			実施期間	S53 ~	E-mail	<a href="mailto:nogi@pref.nagano.lg.jp">nogi@pref.nagano.lg.jp</a>
しあわせ信州創造プラン(総合5か年計画)						
プロジェクト	2 農山村産業クラスター形成プロジェクト					
施策の総合的展開	1-3 夢に挑戦する農業 2 自信と誇りを持てる信州農畜産物の生産					

1 事業の概要

現状 (予算編成時)	○水稻、麦類、大豆及びそばによる水田農業経営の持続的な発展のためには、食味・品質に優れ、需要に見合った生産や、再生産可能な所得の確保・向上が求められている。 ○米については、農産物検査法に基づく1等比率が、全国トップクラスを維持しているが、麦・大豆・そばについては、近年の天候不順により、品質低下や不安定な作柄が課題となっている。				29年度要求額	1,121,788 千円							
					職員数	7.00 人							
目指す姿	○実需者ニーズや需要を踏まえ、地域の特色ある産地づくりを進めるため「水田フル活用ビジョン」を県下全域で策定し、関係機関・団体と連携を図り、ビジョンに沿った作付け誘導が図られている。 ○県オリジナル品種(米(風さやか)、麦(ホワイトファイバー)、大豆(すずほまれ)、そば(信州ひすいそば)等)の作付拡大や品質向上を図り、ブランド化による優位販売が行われている。 ○主食用米のみに依存しない持続性の高い水田農業経営体の育成に向け、水田経営の複合化や生産コストの削減を進めるとともに、経営所得安定対策等の国の支援措置を活用し、経営の安定化が図られている。  (主な実施内容:研修会の開催、実証モデルほ場設置、高性能機械導入・施設整備支援、経営支援制度の推進、米の需給調整の推進など)												
事業 コスト	区分(単位:千円)	27年度	28年度	29要求	29予算案	指標及びその達成状況							
	予算額	前年度繰越	133,775				No	成果指標	27年度末	28年度末 (見込)	29年度		
		当初予算	925,417	1,285,889	1,121,788						目標値	成果	達成状況
		補正予算	-593,146	636,507									
		合計(A)	466,046	1,922,396	1,121,788	0							
	Aの 財源	一般財源	36,359	55,208	69,924		①	実需者ニーズの高い県オリジナル品種の作付面積	1,790ha	2,000ha	2,210ha		
		県債	0	0	0		②	米の1等比率の全国順位	2位	1位	1位		
		国庫支出金	429,678	1,229,801	250,973		③	水田活用の直接支払交付金加入面積	10,172ha	10,932		国から示される数量目標を踏まえて設定	
		その他	9	637,387	800,891	0	④	5ha以上の効率的な水田農業経営体数	594経営体	団体のデータを踏まえて12月に集計	610経営体		
	決算額(B)	390,974											
概算 人件費	職員数(人)	6.00	6.00	7.00									
	概算人件費(C)	49,656	49,656	57,932	0								
概算事業費(B(A)+C)	440,630	1,972,052	1,179,720	0									
成果指標 設定理由	①「第2期県食と農業農村振興計画」に掲げる達成指標であり、県オリジナル品種(米・麦・大豆・そば)の普及・拡大状況を評価できるため。 ②本県において、品質の高い米生産が行われていることを評価できるため。 ③主食用米の計画生産と、需要を踏まえた水田への農作物の作付け誘導により、水田の利活用状況について評価できるため。 ④本県の水田農業を担う持続性の高い水田農業経営体の育成状況について評価できるため。												

指摘事項等への対応	指摘事項	対応
<input type="checkbox"/> 監査 <input type="checkbox"/> 決算特別委員会 <input type="checkbox"/> 県民協働による事業改善		

予算要求からの主な変更点	
--------------	--

2 事業を構成する細事業の内容

(単位:千円)

No	プロジェクト No	細事業名	29年度 実施内容(予定)	職員数 (人)	28年度 (当初)	29年度	
						(要求)	(予算案)
1		需要対応穀物生産強化事業	実需者ニーズに対応した米・麦・大豆・そばの生産体制の強化に向けた、品質向上研修会の開催や、現地実証ほ場の設置等	1.50	982,109	20,701	
2		種子対策事業	主要農作物(米、麦、大豆、そば)の種子を安定的に生産・供給するための、原種ほ等の設置や奨励品種決定調査の実施等	0.50	13,450	13,083	
3		経営所得安定対策推進事業	水田農業の経営安定を図るため、経営所得安定対策への加入促進や事業推進に対する支援	0.30	251,520	250,000	
4	2-3-1	水田農業所得向上緊急支援事業	持続性の高い水田農業経営体を育成するため、経営の複合化に対する支援や、生産コストの削減等を推進	1.50	18,643	11,643	
5	2-3-1	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	水田経営体の収益力を高めるため、県オリジナル品種の戦略的な生産拡大を推進	1.00	5,184	5,184	
6		産地パワーアップ事業	産地強化を図るため、高性能農業機械の導入や施設の近代化を支援	0.60	-	800,000	
7		農業経営カイゼン実践普及事業	新たな手法により農家の経営改善を指導するため、民間が行う改善手法の習得と、モデル経営体への経営改善指導の実施	1.00	-	7,000	
8		水田農業経営確立推進指導事業	主食用米の需給調整を図るため、水田フル活用ビジョンに基づき、主食用米に代わる作物の導入・定着を推進	0.60	14,676	14,177	
		(米粉普及推進事業)			307	-	
合計				7.00	1,285,889	1,121,788	0

事業改善シート附表

事業番号 09 03 01	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業				部局	課・室					■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検						
		細事業No	細事業名	項目	実施方法		29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度			総合5か年計画プロジェクト		県民協働事業改善	
当初(千円)	当初(千円)					要求(千円)				当初(千円)	補正(千円)	決算(千円)	番号	施策の総合的展開	予算(千円)	実施年度	主な点検区分結果	
1	需要対応穀物地域体制整備事業交付金	共同利用施設等の整備に対する支援	交付金	—				617,293	977,425									
1	需要対応穀物生産強化事業	水稲及び水田作麦・大豆・そばの生産振興	直接	・需要に的確に対応した米、水田作麦・大豆・そばの生産振興方針の策定 ・生産体制を強化するための技術研修会等の開催 ・難防除雑草に係わる現地実証ほ場の設置 等				2,977	2,948	3,026								
1	需要対応穀物生産強化事業	畑作戦略作物(麦・大豆・そば)の生産振興	直接	・作付推進・品質向上研修会の開催				5,534	188	188								
1	需要対応穀物生産強化事業	土壌有害物質のリスク管理	直接	・カドミウム低吸収性イネの現地対応性の検討 ・水管理による吸収抑制技術やリスク管理に係わる検討会の開催					668	786								
1	需要対応穀物生産強化事業	農産物の検査業務	直接	・農産物検査制度に基づく、検査機関の登録審査及び立入検査の実施					880	890								
1	需要対応穀物生産強化事業	地域食料自給圏の実証実験	直接	・地消地産を一層推進するため、生産から販売までの地域内循環システムに係わる実証ほ場の設置と検証						15,811								
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	委託	・奨励品種決定調査ほ場の設置(農家委託)				629	660	658								
2	種子対策事業	奨励品種決定調査	直接	・原原種及び原種の採種ほ場の設置 ・奨励品種決定調査の実施				2,465	1,615	1,551								
2	種子対策事業	原種センターへの支援	補助金	・主要農作物種子(米、麦、大豆、そば)の安定生産・供給及び災害に備えた種子備蓄に係わる原種センターへの支援				11,163	11,175	10,874								
	(米粉普及推進事業)	米粉の利用促進	直接	—				327	307									
3	経営所得安定対策推進事業	制度への加入促進及び事業推進	負担金	・経営所得安定対策の説明会開催 ・農業者別生産数量目標に関する申請書配布、回収 ・実績確認等				260,000	251,520	250,000								
4	水田農業所得向上緊急支援事業	水田農業複合経営モデルの提示と推進	直接	・シミュレーションソフト(AGRIX NAGANO)を活用した複合経営のモデル経営体の育成・支援					700	700				2-3-1	1-3,2	700		
4	水田農業所得向上緊急支援事業	経営規模拡大に対する支援	補助金	—					9,000									
4	水田農業所得向上緊急支援事業	戦略作物の収益向上対策	補助金	・麦の品質・収量向上を図るため、共同防除体制の構築に向けた防除作業や防除機導入に対する支援						2,000				2-3-1	1-3,2	2,000		
4	水田農業所得向上緊急支援事業	収益性の向上(経営の複合化への支援)	補助金	・加工・業務用野菜等の導入による稲作経営の複合化に係わる農業機械導入や実証支援				6,231	2,720	2,720				2-3-1	1-3,2	2,720		
4	水田農業所得向上緊急支援事業	コスト低減の推進	委託	・富士通(株)が開発したICTシステムを大規模モデル経営体に導入し、生産コストや労務等の分析を実施					5,992	5,992				2-3-1	1-3,2	5,992		
4	水田農業所得向上緊急支援事業	飼料用米の推進	直接	・多収品種(ふくおこし)の超低コスト栽培に係わる実証ほ場の設置					231	231				2-3-1	1-3,2	231		
5	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「風さやか」のブランド確立推進	補助金	・「風さやか」のブランド化に向けて、メディア、銀座NAGANO等でのPR					3,510	3,510				2-3-1	1-3,2	3,510		
5	主要穀類オリジナル品種戦略的拡大支援事業	「信州ひすいそば」のブランド確立推進	補助金	・「信州ひすいそば」のブランド化や生産拡大に向けた研修会の開催やPR活動の実施					1,674	1,674				2-3-1	1-3,2	1,674		

事業番号	事業名	需要に見合った水田利活用・経営安定総合対策事業				部局	課・室					■当初要求 □当初予算案 □補正予算案 □点検				
細事業No	細事業名	項目	実施方法	29年度 実施内容（予定）	29年度 実施内容（実績）	29年度 実施状況	27年度	28年度	29年度			総合5か年計画 プロジェクト		県民協働事業改善		備考 (H28事業番号)
							当初 (千円)	当初 (千円)	要求 (千円)	当初 (千円)	補正 (千円)	決算 (千円)	番号	施策の 総合的 展開	予算 (千円)	
6	産地パワーアップ事業	産地強化に対する支援	補助金	・次世代を担う農業者等が実施する施設整備や高収益作物・栽培体系への転換を総合的に支援					800,000							
7	農業経営カイゼン実践普及事業	新たな経営改善手法の習得と実践	委託	・民間が行うカイゼン手法の実践を通じた普及指導員の新たな普及手法の習得					7,000							
8	水田農業経営確立推進指導事業	主食用米の需給調整の推進	補助金	・主食用米の需給調整のために市町村が行う、県オリジナル品種等の試作・導入や、地域の戦略作物の生産拡大に対する支援			18,798	14,676	14,177							
合 計							925,417	1,285,889	1,121,788	0	0	0			16,827	